

1 ① 木女 きへん
② おんなへん

2 ① カ頁 ちから
② おおがはい

3 ① 人 木系
② 手 水
③ 日

まちがった問題を確認してみよう！

1 次の漢字のへんを□に書き、()に

名前を書きましょう。

① 横 | □ | ()

② 姉 | □ | ()

2 次の漢字のつくりを□に書き、()

に名前を書きましょう。

① 助 | □ | ()

② 顔 | □ | ()

3 次のへんのついた漢字は、何に関係

がありますか。含むものを—で結び
ましょう。

① イ | 住 | 体 | . | 水

② オ | 柱 | 板 | . | 手

③ 糸 | 紙 | 線 | . | 日

④ 才 | 指 | 投 | . | 木

⑤ シ | 波 | 海 | . | 糸

⑥ 日 | 明 | 晴 | . | 人

1

- ① 近い
- ② 相手 (聞き手)
- ③ 遠い
- ④ しない

2

- ① どれ
- ② あそこ
- ③ そちら
- ④ そっち
- ⑤ こんな
- ⑥ こう
- ⑦ どの

まちがった問題を確認してみよう！

「こそあど言葉」は、正しく使い分け
ることが大切です。話し手が相手に指
しめすものをきちんと伝えるために、
次の表のように使い分けられます。

「こそあど言葉」の使い分け			
ど どこ どこち	あ あそこ あち	そ そこ そち	こ ここ これ
指しめすものが はつきり	話し手から相手から	に近い	話し手に
④	⑤	②	①
場合	場合	場合	場合

1 次の文章を読んで、あとの表の□
に当てはまる言葉を書きましょう。

2 「こそあど言葉」の表の□に当てはま
る「こそあど言葉」を書きましょう。

この	□	□	こち	こちら	ここ	これ	こ
その	そう	そんな	□	□	そこ	それ	そ
あの	ああ	あんな	あち	あちら	□	あれ	あ
□	どう	どんな	どち	どちら	どこ	□	ど
	⑥	③	⑦	③	②	①	

1

- ① 軽いー重い
- ② 横ー縦たて
- ③ 多いー少ない
- ④ 好きーきらい
- ⑤ 深いー浅い

2

- ① 下りる
- ② 下がる
- ③ はく
- ④ かぶる

まちがった問題を確認してみよう！

⑤	深い	↓	<input type="text"/>
④	好き	↓	<input type="text"/>
③	多い	↓	<input type="text"/>
②	横	↓	<input type="text"/>
①	軽い	↓	<input type="text"/>

1 次の言葉の反対の言葉を□に書きましよう。

①	二階へ上がる	↑	<input type="text"/>
②	500円 ↑ 300円 値段が上がる	↑	<input type="text"/>
③	くつをぬぐ	↓	<input type="text"/>
④	ぼうしをぬぐ	↓	<input type="text"/>

2 次の絵を見て、1の言葉と反対の言葉を□に書きましよう。

- 1** ① 続 ③ 庫
 ② 辺 ④ 用
- 2** ① 弱 ③ 依
 ② 敗 ④ 重
- 3** ① 不 ③ 無
 ② 未 ④ 無

~~~~~  
 ちんたい かくだん  
 まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の言葉が似た意味をもつ漢字の組み合わせの熟語になるように、の中から選んで書きましょう。

- ① 連  ② 周   
 ③ 倉  ④ 使

庫・続・辺・用

次の言葉が反対の意味をもつ漢字の組み合わせの熟語になるように、の中から選んで書きましょう。

- ① 強  ② 勝   
 ③ 高  ④ 軽

低・弱・敗・重

**3** 次の意味の熟語になるように、「不」「未」「無」のうちどれか一つに○をつけて書きましょう。

- ① 正しくないこと ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) (未) (不) (無)

- ② まだ知られていないこと ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) (未) (不) (無) 知

- ③ 色がついでないこと ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) (未) (無) 色

- ④ 害がないこと ( ) ( ) ( ) ( )  
 ( ) (未) (無) 害

**1**

- ① 漢字一星 音を表す部分一星
- ② 漢字一客 音を表す部分一各
- ③ 漢字一時 音を表す部分一時
- ④ 漢字一景 音を表す部分一京
- ⑤ 漢字一救 音を表す部分一求

**2**

- ① (例) 開いた口の形からできた。
- ② (例) ロと、音を表す門を組み合わせてできた。

まぢがった問題を**確認**してみよう！

**1** 例にならって、音を表す部分が組み合わされてある漢字をがし、その音を表す部分を書きましょう。

例 倉・固・夕 ↓ 漢字 音を 表す 部分 固 古

① 小・大・星 ↓ 漢字 音を 表す 部分

② 安・守・客 ↓ 漢字 音を 表す 部分

③ 時・昼・曲 ↓ 漢字 音を 表す 部分

④ 本・来・景 ↓ 漢字 音を 表す 部分

⑤ 好・救・対 ↓ 漢字 音を 表す 部分

**2**

例にならって、次の漢字の成り立ちを説明してみよう。

例 草木がめげる形から できた。

問 生

① 口

② 問

1

- ①書く けんじょう語→お書きする  
尊敬語→お書きになる (書かれる)  
ていねい語→書きます
- ②行く 尊敬語→いらっしゃる (行かれる)  
けんじょう語→うかがう (まいる)  
尊敬語→ごらんになる (見られる)
- ③見る けんじょう語→はいけんする

2

- ① イ
- ② イ
- ③ イ

3

- ① いらっしゃる (おこしになる) (おみえになる) (来られる)
- ② 申します

まちがった問題を確認してみよう!

1

次の言葉を□の中の通りに直して書きましよう。

① 書く

けんじょう語 ↓

尊敬語 ↓

ていねい語 ↓

尊敬語 ↓

けんじょう語 ↓

尊敬語 ↓

けんじょう語 ↓

② 行く

③ 見る

2

文中の□の敬語は、ア・イどちらに對する敬意を表していますか。記号で答えましよう。

① 「この絵は父がきました」と私は先生に説明した。

② 社長がおなたにおめにかかりたい、そうです。

③ あの方は先生にお会いたいことがあるぞうだ。

3 次の文の□の言葉を正しい敬語の形に直して書きましよう。

① 先生が来ると母は言いました。

② わたしは山田と申すが...

- 1** (1) 例) まさか、ゆう勝できるとは思わなかった。  
 (2) 例) ぜび、わたしの家に遊びに来てください。  
 (3) 例) なぜ、夜になると、外が暗くなるのだろう。
- 2** 例) おばあさんの家のうらの海は、とてもきれいだ。  
 (1) 例) 歌を歌いながら、家まで歩いた。  
 (2) 例) 説明を聞かなかったので、やり方がわからなかった。  
 (3) 例) 昨日はワラソン大会だったので、今日は足がいたい。

まちがった問題を確認してみよう！

**1** 次の言葉を使って短い文を作りましょう。

(1) まさか  
 (2) ぜび  
 (3) なぜ

**2** 次の□の中言葉を入れ、短く、また「誰」を主語で、「きれい」を感嘆詞にして文を作りましょう。

おばあさん 誰うら 家 きれい とも

**3** 次の二つを、一つの文にしよう。

(1) 歌を歌う。 客室で歩いた。  
 (2) 説明を聞かなかった。 やり方がわからなかった。  
 (3) 昨日はワラソン大会だった。 今日は足がいたい。

**1**

- ① 採集・最終
- ② 結構・決行
- ③ 有効・友好
- ④ 行司・行事
- ⑤ 酸化・参加

**2**

- ① (例文) 協力して強力なチームを作る。
- ② (例文) 医師になるという意志を強くした。
- ③ (例文) 四角い紙に自分の資格を書く。

~~~~~

まちがった問題を確認してみよう！

1

次の文の一言彙を漢字に直し書きましよう。

①	・ん虫をさしゆする。	<input type="text"/>
②	・がいしゆ的に決定する。	<input type="text"/>
③	・けいこですと断る。	<input type="text"/>
④	・雨でも満足をけこうする。	<input type="text"/>
⑤	・けかにゆこうな薬。	<input type="text"/>
⑥	・外国とゆこうを結ぶ。	<input type="text"/>
⑦	・すまのぎよじの換する。	<input type="text"/>
⑧	・学校まよじきと行う。	<input type="text"/>
⑨	・金属がさんかしてやびる。	<input type="text"/>
⑩	・町のお祭りにさんかする。	<input type="text"/>

2

次の読み方をする熟語を二つ以上使って文をつくりましよう。

(例) こえん

公園でけきを公演する。

① きょりよく

② はし

③ しかく

はいくに親しもう①

- | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------------|------------|-----|-----|--------|-------|-----------|-----|-------|
| 5・7・5 | (1) | きせつを表す言葉(季語) | 古池や／蛙とびこむ／ | 水の音 | (3) | 春の海／終日 | のたりかな | 夏草や／兵どもが／ | (5) | ゆめのあと |
|-------|-----|--------------|------------|-----|-----|--------|-------|-----------|-----|-------|

まちがった問題を確認してみよう！

1 次の説明に合うほうの言葉を○でかこみましょう。

(1) はいくは、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{五・六・六} \\ \text{五・七・五} \end{array} \right.$ の十七音からできている短い詩です。

(2) はいくには、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{きせつを表す季語} \\ \text{気持ちを表す言葉} \end{array} \right.$ が入っています。

2 はいくを五・七・五の音数で分けます。れいのように、分かれめに「」を書きましょう。

れい 葉の花や／月は東に／日は西に (写謝村)

(3) 古池や蛙とびこむ水の音 (松屋芭蕉)

(4) 春の海終日のたりのかな (写謝村)

(5) 夏草や兵どもがゆめのあと (松屋芭蕉)